

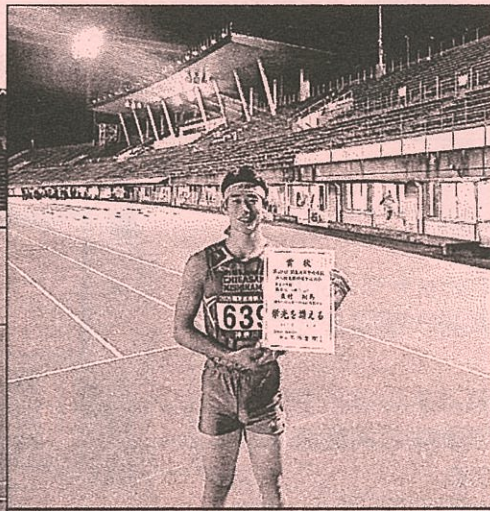
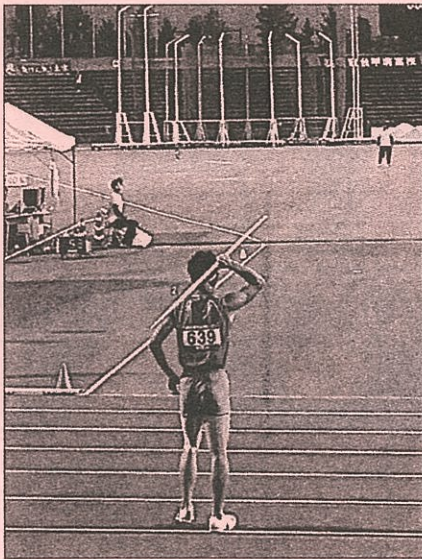
にしはま推進協だより

第80号 令和8年3月31日

西浜学区青少年育成推進協議会
会長 鈴木 葉子

神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校

活躍している部活動、生徒さんをご紹介します



陸上競技部、奥村翔馬さん(2年)は、R7年度県新人大会において男子やり投げで第4位に入賞、さらにその上位大会である関東高校選抜新人大会(山梨県)においても第8位に入賞しました。



生徒会長をはじめ、生徒会本部役員の尽力により、校内にクリスマスツリーが設置されました。生徒会長の森田愛莉さん(2年 右から2人目)は、校内のみならず地域への貢献が認められ県より表彰を受けました。



代表する部活動の一つである書道部の「かながわ書道まつり」での書道パフォーマンスの様子です。



吹奏楽部の「大岡越前祭駅前コンサート」の様子です。生徒会長同様に、地域での演奏会や老人ホーム訪問演奏等の活動が認められ、県より表彰を受けました。

第4回 おやため交流会

平和な湘南に忍び寄るスマホの闇

～児童ポルノ・闇バイト～

令和7年10月19日 南湖公民館



講師 **池辺 正典** 氏 文教大学情報学部情報システム学科教授
～講師プロフィール～

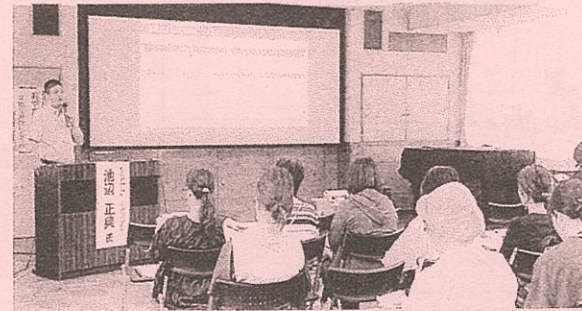
専門は情報学でインターネットから収集した情報を解析し、さまざまな見解を得る研究等を行っています。これらの活動が評価され、2019年には安全安心なまちづくり関係功労者表彰として文教大学サイバー防犯ボランティアに内閣総理大臣より表彰されました。2025年からは茅ヶ崎警察署の少年補導員としても活動しており、さまざまな地域の青少年の健全支援の活動を行っています。

親が知ることで減らせる犯罪



子どもを取り巻くネットや SNS の環境を知り、トラブルの事例や傾向を知ってトラブルに備えましょう。

保護者のこれからの必須スキルはペアレンタルコントロール(*)の理解と使用方法について知ることが必要となる。



『おやため交流会』に参加して

(参加者より)

今回のおやため交流会は、『平和に忍び寄るスマホの闇』というタイトルで中学生の子どもを持つ親としては非常に興味深い内容でした。私は子どもにスマホを持たせていますが正直ネット犯罪とは無縁だと思っていました。池辺教授より今の子どものネットや SNS 環境について、またトラブル事例や傾向・対策についてのお話があり、ネット犯罪が意外と身近にあるということを知りました。

子どもがネット犯罪に巻き込まれないようにするにはどうしたらよいか。保護者が知識を持ってペアレンタルコントロール(*)を利用し、トラブル事例や対処法を知って安全にネットができる環境を整えてあげること、そして子どもの成長とともにネットリテラシー(ネットを正確に使うための知識と能力)を身につけさせることが重要、とのこと。

私はネットに疎いですが、今後は必要知識を身につけていこうと思いました。『おやため交流会』に参加し、改めて家族でスマホの適切な使い方などを話す良いきっかけとなりました。

*ペアレンタルコントロール: 子どもがスマホ、ゲーム機、パソコンなどの端末やオンラインサービスを利用する際、保護者が有害コンテンツの閲覧、機能、利用時間、課金などを制限・管理する機能

【その他の感想】

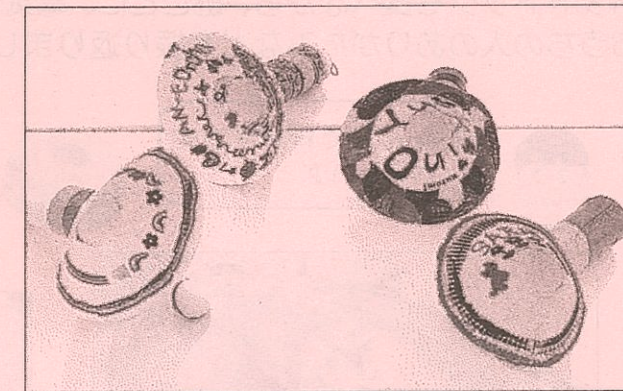
- ◆ 中1の息子に持たせるにあたり、心配なことが多くありました。基本は親がすべてチェックしていますが、使用している時にずっと見ているわけではないので、話す時間も大切だと思いました。
- ◆ とても良い講座なので、参観日や学校行事の前後に学校でやって欲しかった。もっとみんな参加してほしい! 子どもの親も知っているべきだけとよくわかってないことはとても多い。西小・西中での授業でもやって欲しい (親も参加で)

子どもの広場

キャッチボールマシンを作ろう!

令和7年11月15日 南湖公民館

紙皿とトイレトペーパーの芯を使って「キャッチボールマシン」を作りました。紙皿に色とりどりのマジックで好きな絵柄を描いて、紙粘土でできたボールを飛ばして遊びました。

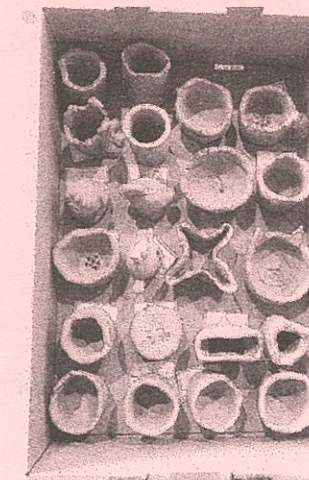


西浜学区子ども大会

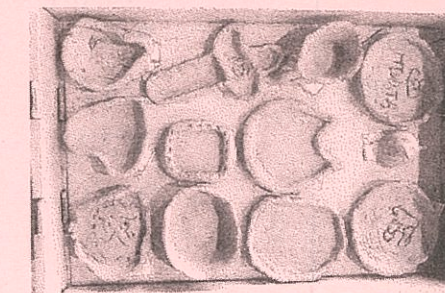
～陶芸～

令和7年11月24日
西浜小学校 体育館

1人300gの粘土を使って、思い思いにお皿やコップなど自由に制作しました。4色の釉薬(ゆうやく)の中から好きな色を選び、1か月後に完成品を手に入れました。過去最高の参加があり、大盛況でした。



4色の釉薬



*参加者 136名
(児童87名・幼児18名・大人31名)
*スタッフ 26名
(子ども会役員19名・推進協7名)



ドキドキチャレンジ2025 パート2

～炭火でバウムクーヘンをつくろう～

R7年12月13日 南湖公民館

ドキドキチャレンジは、子どもたちがちょっと難しい課題にチャレンジするという、南湖公民館と推進協が共催する人気企画です。

今回は、炭火と竹を使ってバウムクーヘンづくりに挑戦しました。地域も学年も異なるメンバーで班を作り、卵を割って牛乳やバターなどを混ぜ、竹にハケで塗っては回し、少しずつ炭火で焼きながらおよそ2時間！低学年の子を手伝ったり、疲れたら交代してあげたり、班長さんの声掛けで次の作業に移ったりと、班で協力しながら、立派なバウムクーヘンが完成しました。

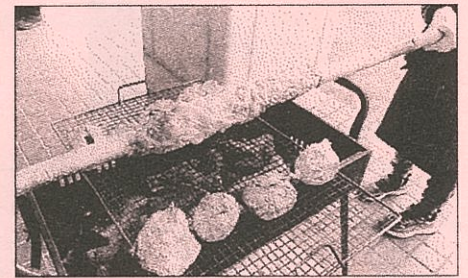
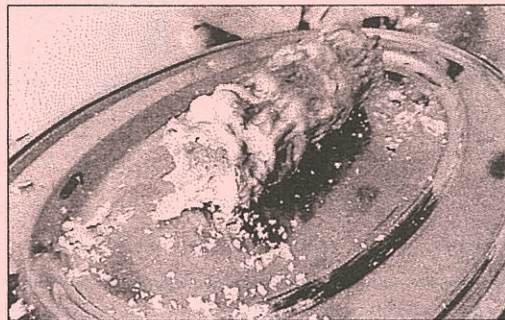
あわせて作った焼き芋やホットドッグも食べながら、班ごとに、電気や調理器具がない中で料理することの大変さ、普段のおうちの人へのありがたみなどを振り返りました。



みんなで料理するのが楽しい♪



小さい子たちと作るのも楽しかった♪



いつも大人の人と一緒に料理しているから、子どもだけで作るのは大変だった



令和7年度事業報告



令和7年	4/18	定期総会
	5/24	ドキドキチャレンジ
	6/4	役員会
	6/27	理事会
	8/16	南湖地区納涼盆踊り パトロール
	8/22	柳島スポーツ公園納涼祭
	9/1	推進協だより第79号発行
	9/5	役員会
	9/26	理事会
	10/19	第4回おやため交流会
	11/9	南湖ふれあいまつり

	11/15	子どもの広場
	11/23	はたらくクルマ大集合
	11/24	西浜学区子ども大会
	12/13	ドキドキチャレンジ パート2
令和8年	1/23	役員会
	2/28 ~3/1	南湖公民館まつり
	3/6	役員会
	3/17	理事会
	3/22	やなスポフェス
	3/31	推進協だより第80号発行

* 随時 パトロール